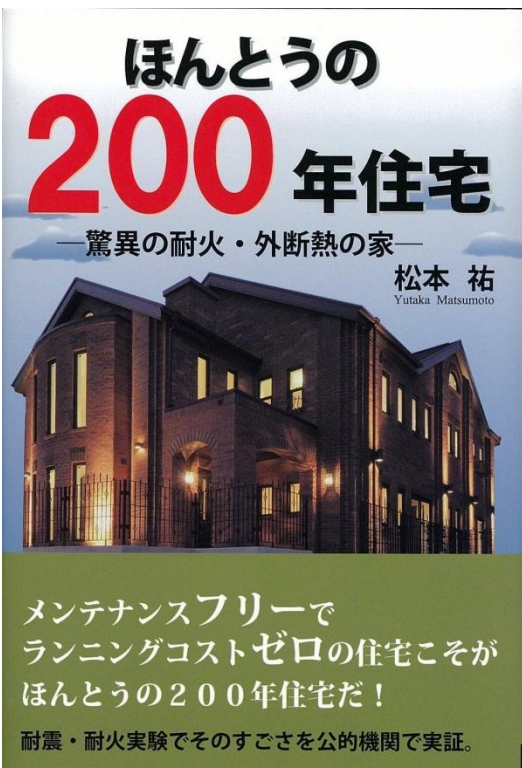


明けまして
おめでとうございます



2010年も、創業者 松本祐の著書が好評です。

住宅を建てる時読むべき外断熱に関する書籍の売れ筋ランキング Amazon扱い



最新著書

「ほんとうの200年住宅」

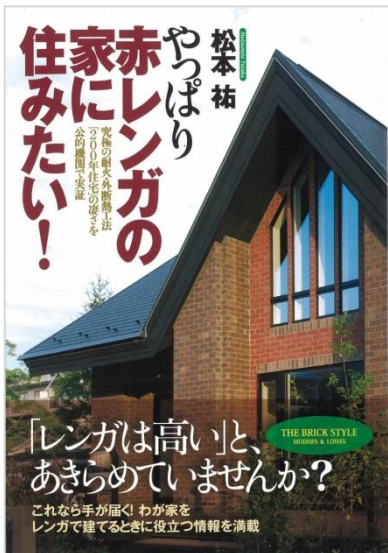
第1位!

カスタマーレビューより

この人凄いです。
日本が目指す将来の住宅がこれです。
同業者として大変勉強になりました。
いい加減なマンション業者の耐震偽装から、住宅業界は猜疑心で見られています。
そしていい加減な会社はここ数年で沢山倒産しました。
しかし、この著者のように真剣に家づくりをしている人もいます。
くだらないスレッドの書き込みを参考にするだけではなく、
この本を参考に家探し、家づくりをしてください。
そして頭でっかちな役人もしっかり読んでください。
(練馬区の方より)

第2位!

「やっぱり赤レンガの家に住みたい！」



買い物に行ったついでに寄った書店で平積みされたこの本を見つけ、まず、表装の「煉瓦の素敵な家」のカラーの映像が飛び込んで来ました。

子供の頃、私の故郷でも良く見かけた赤レンガの家、なんだか郷愁を感じました。早速購入して読み進めるうちに赤レンガの家は、単にそこに住む家族だけではなく、周りの近隣の方々にも『やさしい』家だったのですね、それに地球環境にも・・・。

本物のレンガの家はいかにも重厚感があり、地震に強そう、火事にも強そう。外観だけでも安心感をもてるし、レンガには花や緑が似合いガーデニングをする事で周りの人達に安らぎを与えるのではと思います。

赤レンガの家は、人に『やさしく』・地域に『やさしく』・地球に『やさしい』家であり、そのような価値観を共有できる方が増えるといいなと思いました。

第4位!

ロングセラー

「新外断熱住宅はもう古い！」



住宅展示場に行けば、たくさんの素敵な家があり、多数の人がその見た目に目を奪われ、心を奪われる。その印象だけ持ち帰ってあんな家がいいこんな家がいいなんて検討してしまいます。

偶然見つけた本ですが、家を建てるということはどういうことなのか 考えさせられたように思います。

見た目にだまされず、一生住める本当に心地よい家を考えたいと思いました。

第5位!

健康住宅の真価は!

「やっぱりあったか〜い家に住みたい！」



私たち住んでいる側で大きな問題は、当然のことですが、両親が高齢になってきたことです。

建てた当初は室内に高低差のない意味でのバリアフリーが盛んに取り上げられ、車いすの生活になっても、介護する側もされる側も楽に過ごすことができますと説明された記憶があります。

今になって思えば、車いす生活を憂うより、その前にもっと快適な住まい心地の良い家を見極める目を持たなければならなかったのだと後悔しています。高低差のないことも大事だと思いますが、室内どこにいても温度差のないバリアフリーな環境が、快適な住まい心地にはなくてはならないのだと痛切に感じました。

「本を読んで是非著者の会社へ体感しに行きたくなりました」
—カスタマーレビューより